

コミュニティ 佐潟だより



— 平成24年 初夏号 —

あいさつ

コミュニティ佐潟

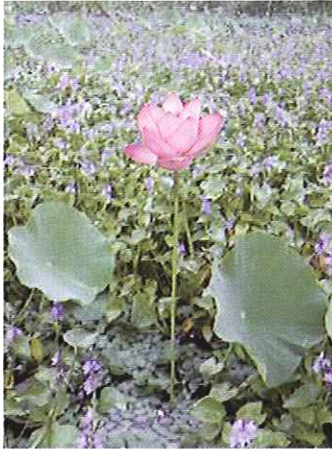
会長 石黒 伸 夫

コミュニティ佐潟は六月の定期総会を経て、二十四年度のスタートを切りました。今年是一部役員の交代もありましたが、新規参加団体も一団体増え、新体制で活動することとなりました。以下に今年度の事業、検討事業の主なものを、幾つかお伝えいたします。

● 佐潟観光ボランティアガイド養成講座開始：わくわく西区PR事業の一環として昨年発足した佐潟観光プロジェクトチームと農政商工課が連携。今後佐潟周辺の観光に一役買って頂けるように推進して参ります。

● 総合公園工事着工：新潟市公園整備事業として計画、赤塚埋め立て処分地に新設計画されている公園が、本年度着工予定となっております。

この他にも、地域内で考えていかなければならない事業が数多くある事をご理解して頂き、皆様の更なるご支援とご協力をお願いいたします。



区政懇談会

六月八日コミュニティ佐潟定期総会に続き、西区・泉区長との懇談会が行われ、当地区で懸案となっている、震災廃棄物受け入れを中心に話し合いが行われ、以下の内容が区長より報告された。

「焼却施設としては、設備能力から新田清掃センターと亀田清掃センターが、埋め立て処分地としては第四赤塚埋立処分地と太夫浜埋立処分地が、それぞれ候補に挙がっている。正式な住民説明会がない中で、受け入れが既成事実化してしまうのではという皆さんの心配も十分理解できる。隣接地区の黒埼からも多様な意見を頂戴している。受け入れの責任主体である市の見解が明確になっていない現状では、区としては住民意見の反映と、調査を重ね科学的根拠に裏打ちされた説明の場を設けてもらうよう要請していく」

参加者からの声として、「説明会は細かく自治会単位で行って欲しい」「専門知識を持つ方を招き、賛成・反対共に納得できる説明会を行政とは別にコミ協単位で持てないか」「県と意見の相違がある。受け入れ五市で県と協議なされないのか」等の意見が挙げられた。



佐潟桜まつり・桜ハートツアー

コミュニティ佐潟では4/23(日)、東日本大震災で福島県から避難している「うつくしまクラブ」の方々を佐潟公園に招き、交流の場を提供して親睦を深める予定でしたが、当日の天候不良により会場を西総合スポーツセンターに移し実施しました。昼食を取りながら「うつくしまクラブ」の皆様と会話し、昼食後は子供たちを対象に「輪投げ大会」を行いました。輪投げでは得点が入る度に歓声が沸き、楽しみながらも真剣な眼差しも見られ、賞品のプレゼントにも喜んでいました。

また佐潟公園では桜まつりを開催。佐潟産のフナ汁、コンニャク、牛すじ等の販売の他、商工会館2Fでは国際情報大学の裏千家茶道部によるお手前を披露していただきました。





赤塚・中原邸保存会

『たけのご堪能会』

5月12日(土)中原邸内竹林にて、恒例の「たけのご堪能会」が行われました。

これは、普段竹林整備を進めている会員慰労と親睦会も兼ね、たけのご掘り体験と試食会を行い、今年は会員とその家族併せて70人以上が集い例年以上の賑わいを見せていました。

食事のメニューはすべてたけのこを使い、たけのごご飯、若竹汁、煮物、天ぷら、漬物とバラエティーに富み、旬のたけのこ料理に舌つづみを打っていました。

整備された竹林内の一角にシートを広げ、美味しいですね！この調理方法と味付けは？おわかりしていいですか？と和やかに料理を味わい尽くし、竹林内にしばし歓喜の声が上がっていました。



美しい佐潟 未来へ

ラムサール条約登録湿地の佐潟にて「美しい佐潟を未来に残そう」と題した催しが6/9(土)に行われた。家族連れら約40人が参加して潟舟の乗船体験や野鳥観察、ゴミ拾いのボランティアに取り組んだ。当日は小雨のばらつくあいにくの天候だったが、参加者は雨具を身に着けて屋外活動を楽しみました。

催しは自然保護に向けた活動を行う「アクアソーシャルフェス2012」の一環。



平成24年度事業計画

- 4月 佐潟桜まつり&桜ハートツアー・四ツ郷屋春祭り
- 6月 定期総会
- 7月 菜の花収穫・四ツ郷屋浜海岸清掃・コミ協便り発行
- 8月 佐潟まつり
西区一斉クリーン活動(木山地区・佐潟公園内)
- 9月 潟普請・コミ協便り発行
- 10月 佐潟ヨシ刈り・四ツ郷屋クリーン作戦
菜の花プラン種まき・みずき野クリーン作戦
- 12月 コミ協便り発行
- 25年
3月 四ツ郷屋クリーン作戦・佐潟冬まつり・コミ協便り発行



佐潟村

『ばわふる！ おかあさん達』

「地元の魅力を知ってもらいたい！」をモットーにH19年、女性4名で発足。現在は女性7名・男性3名で活動中。活動拠点の赤塚商工会館二階をお借りして、佐潟で採れる素材を利用したトバズフラワー、ストラップ、リース作りなど、手芸体験を随時開催。

週末は湿地センター脇のテントで、自家栽培野菜を販売。通年通しての野菜販売を目指し、この夏はスイカ収穫体験も予定。「土と触れ合い、大勢の人に来てもらいたい！」と益々意気盛んです。



新規加入団体紹介

編集後記

今年度は、冬の大雪に始まり、バクダン低気圧による暴風雨や、6月は早くも台風の接近など気象災害が多発している年です。もしやと思ったらムリせず、あわてず、万が一の時のために備えておきましょう。